

春だ！鳥の声に耳をすまそう！

1. 鳥のさえずりを聞いてみよう！

春は鳥たちの恋のきせつです。そんな恋のきせつのさえずりを聞いてみよう！

1) 「さえずり」って何？

春になると鳥のオスたちがいろいろな声でなまします。このときの鳥のいろいろな声のことを「さえずり」といいます。

2) 鳥の声には「さえずり」と「じなき」があります。

「さえずり」：恋のきせつにオスが出すふくざつで、とくちょうのあるなき方。

「じなき」：みじかく かんたんなきかたで、メスもオスも1年中だします。

たとえば ウグイス さえずり：「ホーホケキョ」 じなき：「チャッ チャッ」

3) 「さえずり」をするのには、2つのりゆうがあります。

・メスに気に入ってもらって、選んでもらえるようにするため

・自分の「なわばり」をほかのオスに知らせて、入ってこないようにするため

「なわばり」って何？： 巣のまわり。子どもを育てエサをとる自分の家とにわのようなもの

2. オリジナル(自分だけの)鳥の聞きなしをつくってみよう！

鳥の声を人間の言葉におきかえることを、「聞きなし」といいます。

1) 春によく聞こえる鳥の「聞きなし」3種類

ウグイス 「ホーホケキョ」「ホー法華経（ありがたいお経からとったよ）」

ホオジロ 「一筆啓上つかまつりそうろう（ほんとにそう聞こえるかな）」

メジロ 「長兵衛 忠兵衛 長 忠兵衛（名前みたいだね）」

2) 音を聞いてオリジナルの「聞きなし」を作ってみよう！

たとえばこんなものがあるよ。

ウグイス：「もーちょっと待ってよ！」（どう？そう思うとそう聞こえてこない？）

「オーイ、ガンバレッ！」（テストがうまくいなくて落ちこんでいた高校生が
そうはげまされたように聞こえたんだって！）

ホオジロ：「さっぽろラーメン・みそらーめん」

メジロ：「チルチルミチル青い鳥」

さあ、キミもオリジナルの「聞きなし」を作ってみよう！

3. オリジナルの聞きなしをもって、こんどの休みは自然の中へ出かけてみよう！

自分のオリジナル聞きなしで3種類の声を覚えたら、公園や野山・田んぼで耳をすませてみよう。きっと聞こえてくるよ。

何よりも本物の声を聞くのが一番。聞こえたら、すんでいる所はどんなところか、よく見て感じてみよう。

【自然の中でのマナーを考えよう】

鳥のさえずりは、種類を聞きわけるのにとっても便利だね。でも、みんないっしょうけんめい子どもをそだてるためにがんばってないているのだから、じゃまはしないようにしましょう。どんな気持ちを持って行ったらいいかな？どんな行動をしたらいいのかな？みんなできめてみよう。

【ヒナを拾わないで】

もう一つ大切なこと、地面におちているヒナを見つけても拾わないで、すぐその場を立ちさろう。巣立ってまもないヒナがおちてしまうことがよくあるんだ。近くに親鳥がいるはずで、キミがいるから、近づけないだけ。そっとしておけば、親鳥がめんどうをみてくれて、すぐに飛べるようになるよ。ヒナに、何がきけんなのかを教えたり、食べ物のとりかたを教えたりするのは親鳥のしごと。人間は親鳥のかわりにはなれないことを理解しよう。

